

# 皆様の笑顔と幸せのために 喜んで働きます!

日頃よりご支援いただきありがとうございます。  
市政報告をお送りいたします。



川合 滋 足立 よしえ

皆様の笑顔と幸せのために喜んで働く、会派『喜働(きどう)』通信です。

現在、世界中で新型コロナウイルスが猛威を奮っている中、日本各地では豪雨による災害が後を絶たず、心が痛むばかりです。目に見えないウイルスや太刀打ち出来ない自然災害に対して、私達が出来ることが限られているかもしれませんが、せめて予想出来ることは事前に対応して備えておきたいと思えます。

今後も会派として、現実を直視して物事を未来へ進め、皆様の声を大切に柔軟に対応していきたいと考えております。皆様のお知恵や経験もお借りしたいと考えております。忌憚のないご意見をいただけたら幸いです。

## 第 390 回定例会 (2020年3月議会)

### 名張市立病院使用料及び手数料条例の一部を 改正する条例の制定について



国が定める保険医療機関及び保険医療費負担規則の一部改正に伴い、紹介状がない場合の初診に係る選定療養費(\*)の額を改定するほか、再診に係る選定療養費の額を定めるため、所要の改正を行いました。

#### 理由

今までは400床以上の病院が対象だったが、2020年4月からは、200床以上の病院も対象となりました。そのため、200床の病床がある名張市立病院も対象となり、条例改正いたしました。  
なお、金額は国が定める範囲内の最低金額(5,000円)で設定してあります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

※基本的には、名張市立病院は紹介外来型の病院です。内科に関しては、完全紹介型で対応しております。

※選定療養費とは、2016年4月の診療報酬等改定により、

「初期の治療は地域の医院・診療所(かかりつけ医)で、高度・専門治療は病院で行う」という医療機関相互の役割分担及び業務連携の推進を目的として、厚生労働省により制定された制度です。他の保険医療機関などからの「紹介状(診療情報提供書)」なしに初診で受診した患者様の場合、初診料以外に各病院で定めた金額をいただきます。

なお、紹介状がある場合及び特定の公費医療を受けておられる方や救急車で搬送時の場合などは、ご負担いただく必要はありません。

## 第 392 回定例会 (2020年6月議会)

### 新型コロナウイルス関連質問



#### 相談窓口の1本化

Q. 県の指導の下、新型コロナウイルス感染に関する相談窓口が1ヶ所となっています。2002年に発生したSARSの時は窓口を多くしたために医療機関の混乱がありました。その教訓を生かして、今回は相談窓口を1本化したと聞いております。問い合わせ窓口が保健所のみとなっている理由を教えてください。

A. 現在、帰国者相談センターは本年2月に国から保健所に設置するように指示があり、伊賀管内の保健所に設置されています。受診相談をどこに電話していいかわからない、また、いろんな医療機関に相談すると医療現場で混乱が起きることも予想されるため、相談窓口を1本化しました。相談者が確実に受診できるように調整も行っています。

なお、入院調整やベッドの確保、PCR検査センター設置についても県が中心となって進めています。

#### 市内の経済対策

Q. 商工会議所と名張市で、新型コロナウイルス感染症対策支援サイト『結(YUI)』を開設していただきました。現在の取組みと今後の展開をお聞かせ下さい。

A. 国の地方創生推進交付金を活用して、令和元年度に設立した名張市好循環推進協議会から商工会議所へ委託型で連携し行っている事業です。商工会議所会員に限定せず、市内に所在する事業所が広く参加でき、飲食店のテイクアウトの取り組みなどを紹介するサイトを立ち上げました。プロジェクトの発展型として、外出自粛期間中は市役所周辺で弁当の出張合同販売も行いました。今後も名張市、商工会議所、経済好循環推進協議会が連携して進めていきます。

※「結(YUI)」プロジェクトについては、こちらをご覧ください。



要望事項 たくさんの方に新型コロナウイルス感染症対策支援サイト『結(YUI)』を知っていただけるように、広報の充実をお願いいたします。



## 補正予算関連質問

### 救急車の対応

Q. 感染患者を運ぶ可能性はありますか？また感染者を運ぶ際は、どのように対応しますか？

A. 感染患者の医療機関への輸送は各都道府県の任務となり、知事の判断で行います。県の輸送能力を超える時は、保健所などから協力依頼がある予定です。その際は、勤務している隊員とは別の隊員でチームを編成して、上下が繋がっている服を着て、感染防護措置をした救急車で搬送します。



### 効果的見守り支援体制構築実証実験事業 ※国の老人保健事業で10分の10の事業

(一人暮らしの高齢者などを対象に、スマートスピーカーを用いた新たな見守り支援体制) の検証や対話型行政サービスなどの実証実験に要する経費

Q. 実証実験の内容と、その後の展開はどのようにお考えですか？

A. 誰一人取り残さない社会を目指すため、現在、どのような問題があるか分析し、高齢者のコミュニケーション不足やフレイル予防に繋げる新たな見守り支援体制、モデル事業を作ることが目的です。まずは高齢者対象の実証実験を行います。大きなテーマは、引きこもり。引きこもりの方は生活困窮に陥りやすい。日本の社会保障制度の一番の問題は、生活困窮者、生活保護費がかなり膨らみを持ち始めています。何をすれば社会参加できるようになるか探っていき、見守り支援体制を作っていきたい。



**要望事項** 新型コロナウイルス禍では、感染が怖くて買い物に行けない方などの困った声が届けられるようなシステム作りなど、将来的な活用方法も視野に入れた実証実験を希望いたします。

### 小学校給食費

(新型コロナウイルス感染症対策として、学校の臨時休業措置を受け、給食食材の発注などについて事業者が受けた損失に対する補償経費)

Q. 3月に休校した際の16日間分の食材費などの補償事業と聞いていますが、4月以降の休校による食材費補償は、どのように考えていますか？

A. 国が3月に要請した急な一斉休校で給食を休止せざるを得なかった。そのため国が制度を設けて補助金を財源として補正予算に計上しています。4月以降は、急な給食休止が起こった場合でも出来る限り大きな混乱を起こさないように平素から給食メニューを工夫し、食品納入業者と頻りに連絡を取り合い調整しております。しかし万が一、給食の休止をせざる得なくなった場合、必要があれば財源を確保し対応していく。

Q. 新型コロナウイルスの影響で収入減となった保護者負担を減らすために、給食費無償化など、お考えではありませんか。

A. 検討してみたが、3ヶ月間、無償にしようと思うと5,000万円の費用が必要となります。財源確保含め、慎重な判断が必要と考えます。

**要望事項** 給食に関することとして、新型コロナウイルスの影響を受けた納入業者への食材補償、給食費の無償化も検討いただきたい。ぱりっこすくすく募金なども活用していただきたい。

ふるさと納税式(税控除あり)

ぱりっこすくすく募金

実地中

子どもの安心・安全を守る  
取組に活用します



※詳しくは市のHPをご覧ください。

## ★介護老人保健施設 ゆりの里 閉所について★

### 経緯

平成28年2月23日付けで、政策調査部会から行政に対して『財政改革に対する意見書』が提出されました。その内容には「市立病院、介護老人健康施設、看護専門学校の各経営形態について、地方公営企業法の全部適用、地方独立行政法人化、指定管理者制度、民間譲渡などの導入を検討されたい。」という意見も含まれました。その後、「第2次名張市立病院改革プラン」が策定され、「経営形態の見直し」を行うこととなりました。

### 実情

毎年約6,000万円の経営の赤字があり、その赤字補填は、市民サービスを担う一般会計から繰り出しがされていました。それとは別に介護老人保健施設ゆりの里建設時の借金返済(残高6,000万円)もありました。

### 無償貸与後

毎年6,000万円の繰り出しがなくなり、更に建設時の借金も0円となりました。合計1億2,000万円の削減です。なお、市内には民間の介護老人保健施設が2か所あり、合計180床、利用状況は65%(令和2年5月31日現在)。市民の皆様が安心して利用できる環境にあります。

皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。

<http://www.adachiyoshie.jp>

発行：会派「喜働(きどう)」

住所：名張市鴻之台1番町1番地

電話番号：090-3564-5380 (川合滋 直通)

：090-7898-9453 (足立よしえ 直通)